

令和6年度第1回印西市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和6年9月13日（金） 14時00分から16時20分まで
- 2 開催場所 印西市役所 3階 大会議室
- 3 出席委員 小熊委員、山崎委員、遠藤委員、吉村委員、坂口委員、白石委員、間野委員
- 4 出席職員 根本クリーン推進課長、関推進係長、吉野主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事 議事
(1) 令和5年度印西市一般廃棄物処理概要について
(2) 第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について
(3) その他
- 7 配付資料 ・次第
・令和5年度印西市一般廃棄物処理概要（資料1）
・第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について（資料2）
- 8 会議概要 (1) 資料1に基づき説明を行い、意見等をいただいた。
(2) 資料2に基づき説明を行い、意見等をいただいた。
(3) 議事なし
- 9 審議経過
議長 それでは、議題（1）第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について、事務局より説明をお願いします。
事務局 （資料1について説明）
議長 今説明がありました資料1について、ご意見ご質問等ありましたらお願いします。
それでは私からになりますが、14ページ、15ページの排出量の表ですが、だんだん右下がりになっていますので、いい傾向と思います。
集積所にごみ出しに行ったときも、少しごみの量が減ってきているのかなと感じます。ただ、資源物とみられるものが燃やすごみの袋に入っているのも、まだまだ見受けられます。
委員 すいません。生ごみの減量についてですが、今、生ごみは最終的にはどのような処分、処理をされているのでしょうか。
議長 生ごみはコンポストなどを利用して、自分で量を少なくする処理をしていらっしゃる方もいますけども、基本的には燃やしていますよね。
事務局 はい、今お話にあったとおり、まず生ごみとして出される前に、例えば生ごみ処理容器等をご利用いただいて、生ごみとして出す量を減らすというのが、第一段階でございます。次に、生ごみは燃やすごみになりますので、水色の指定袋に入れて、集積所に出されたものにつきましては、クリーンセンターで燃やすごみとして焼却処理されております。
委員 焼却処理ということで、なんとなくエネルギー的にもったいない気がします。私も肥料化して、庭に使ったりしているのですが、みんながそうしてできるわけではないと思います。なにか他に生ごみを減らす良い方法などはないのかと考えてしまいます。

事務局 　例えば、食品ロス削減として、私どもも啓発の中でご紹介させていただいているのですが、料理の時に使わないで捨てる部分をなるべく減らすこと、また、食べる分、使う分量だけ買うこと、そこから始めていただくことが生ごみを減らすうえで、最初に取り組めることではないかと思います。

　もちろん、全部食べ切ることも大切ですが、食べきれる分量を作るという意識も大切になると思います。

　生ごみ処理容器や処理機による生ごみの減量と合わせて、こうした食品ロスを減らすことでの生ごみの減量のPRを今後もしてまいりたいと考えております。

委員 　私の住んでいるところは、今ありましたように、生ごみについては、食品ロスを減らそうということを地区の会合でも呼びかけているところです。食べ残しをなくし、出すごみをできるだけ少なくするということが、まず一人一人が取り組めるごみの減量化なのではないかと思います。

　また、ごみ出しについては、軽トラックを持っている家が多いので、軽トラックや乗用車に積んで集積所に持っていくというような状況です。

　中には、本来捨てるにはいけないものが捨てられていたりして、市に相談等して対処したものもありますが、全体としてのごみの量は減ってきているのかなというように感じています。

議長 　例えば、他の自治体になりますが、生ごみだけを別に処理しているところがあります。また、試験的に生ごみをバケツに入れて出してもらい、堆肥化して、堆肥になったものを市民にお分けするというような取組事例もあります。家庭菜園やプランターの中に混ぜたりしてお使いくださいという形で配布されているようです。

　また、処理業者によって食品関係等いろんなところから排出される生ごみを合わせて、畜産用の肥料や堆肥に利用する場合があります。

　燃やさずに処理できる場合には、こうした形で処理されています。

事務局 　みなさんが生ごみの減量やコンポストによる堆肥化に取り組まれる場合には、市で実施しております生ごみ処理器、生ごみ処理容器の補助金をぜひご利用いただければと思います。

議長 　今年度の予算はまだありますか。

事務局 　はい、あります。

議長 　広報でも、ごみの分別のところで紹介してくれていたりしますので、引き続き啓発してください。

　その他、いかがでしょうか。

委員 　22ページ 可燃ごみの組成割合の円グラフですが、去年の資料にもありましたが、すごくいいデータだなと思います。

　また、ごみの量が減ってきているのも、市民の一人一人の心がけと市のごみ減量施策が効果を出しているということも本当に素晴らしいことだなと思います。

　ここで、印西市もゼロカーボンシティ宣言をしましたし、もう1歩踏み込んで、ごみの減量をこれから達成していくにあたり、この円グラフの、厨芥類とか、可燃紙類、プラスチック類などの割合の多くを占めているものに関して、より具体的なデータを得ることはできないでしょうか。

例えば厨芥類でいうと、単なる野菜くずなのか、それとも食べられる食品ロスに当たるものなのか、そのあたりまで分析して、それを1年ごとにデータを取っていくと、2050年までまだ時間がありますので、より詳しく知ることによって、これから先の、このごみ減量施策の有効性を評価する貴重なデータになると思います。

この円グラフ本当にすばらしいので、ここで終わらず、せっかく現場の方が臭い生ごみの入った袋を開いて、分析されたと思いますので、そこからさらにもう1歩詳しいデータをとることができないかなという提案になります。

そうすることで、これから1年ごとに取っていったデータが、5年後、10年後の宝になるのではないかと思います。

事務局 ご意見ありがとうございます。

こちらの組成分析は、今おっしゃられたようにごみ袋を開けて、その中身を市職員と、クリーンセンター職員と一緒に分類作業を実施しています。この分類をより詳細にということで、例えば食べ残しであるのか、まだ食べられる食料品の廃棄などの食品ロスなのかなど、分類や分析のやり方については、クリーンセンターとも相談し、検討して参りたいと思います。

委員 プラスチック類に関しても、容器包装プラスチックなのか、製品プラスチックなのか、その辺りも今後新しくできるごみ処理場の、処理にも関わってくるのかなと思うのですが、割合の大きな紙類、厨芥類、プラスチック類の3区分だけでも、より詳しいモニタリングができたらいいいのかなという意見になります。

事務局 ありがとうございます。

議長 私は以前、家庭系の組成分析に立ち会ったことがあるのですが、結構細かく分類されているのですけれども、今ご意見のあったような細かい分類になりますと、全部混ざってしまっていることもあるので、正直難しい部分もあるのではないかなと思いますが、今年度の組成分析は終わってしまっていますか。

事務局 令和6年度の組成分析は、これからになります。

議長 もし実施されるときに都合が合えば、見させてもらおうと思います。

委員 お願いします。

議長 焼却炉のピットのごみ質分析はクリーンセンターで行い、ごみ袋の組成分析は、それぞれの市町で行っていると思ったのですが、どうでしょうか。

事務局 おっしゃるとおり、組成分析のやり方としましては、例えば印西市の分ですと、印西市の中から抽出した6ヶ所の集積所から、ごみ袋を無作為にとりまして、印西市の職員とクリーンセンターの職員で、袋を開けて、どういうものが含まれているか分類ごとに分けて、それぞれの重さを量り、表にまとめるという流れで行っています。

委員 こうしたデータを何年も蓄積していくことで、最近こういうごみは減ってきたな、でもこういうごみは減っていないな、というようなことが見えてくると思います。そうしたら、このごみを減らせるような施策に力を入れようということが出来るのではないかと、PDCAサイクルもうまく回るのではないかという考えもあり、意見させていただきました。

議長 分析する季節によってもその中身は変わってくる部分もあると思いますが、細か

く分析し、蓄積することで、それが活かされることがあると思います。

委員 昨年度の資料も今手元にあるので見比べてみると、組成割合がほぼ一緒なんですよね。サンプリングの数としてはこれでいいのではないかと思うので、あとはそのサンプリングしたものの中で、分類等をより詳しく取ればいいのかと思います。

確かにおっしゃる通り、季節によって違うことも考えられますが、そこまで手を広げると大変なので、今取られているサンプル数で、もうちょっと詳しくデータを取ることが出来ればと思います。

議長 そうしましたら、組成分析については、日程等の都合がつくようでしたら見させていただくのもよいかと思いますので、日程等わかりましたらお知らせいただければと思います。

他にありますか。

それでは、また私からになりますが、23 ページの有価物集団回収の集団回収量の推移の表ですが、ほとんどの分類が減っている中で、アルミとペットボトル、この2つは逆に増えています。

やはりこれは生活様式が変わってきているのだと思います。

ビンや紙類は、利用されない家庭が増えてきていたり、ただダンボールはインターネットによる購入の関係で増えていると思いますが、飲料についてはほとんどの容器がアルミとペットボトルに限られてきているのでしょうか。

委員 ペットボトルは資源として再利用されていると思うのですが、他のプラスチックについては再利用されているのでしょうか。

事務局 ペットボトル、プラスチック容器包装につきましては、資源物として回収させていただいており、再資源化されております。

それ以外プラスチック製品につきましては、燃やすごみとして回収しておりますので燃やすごみとして処理している状況になります。

委員 プラスチックごみの発生量を下げると、何かいい方法はないものかと思います。

議長 ペットボトルは単一素材ですので、リサイクルして、繊維などの原材料になっています。また、白色トレイや透明のもの、或いは、同じものを集めると、そのまま再生が効きます。

各国みんな処理の基準が違いますから、一律に横並びにして数字を比較することは難しいのですが、ペットボトルの回収量などをみると、日本は一生懸命やっていると見えるのではないかと思います。

また、印西市も、非常によく分別されていると思います。

その他いかがでしょうか。それでは議題（1）を終わります。

次に、議題（2）第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について、アクション1について事務局より説明をお願いします。

事務局 （資料2 アクション1について説明）

議長 アクション1について、ご意見等ありましたらお願いします。

それでは私から、1-3 剪定枝の減量の貸出実績ですが、令和5年度と、令和6年度の今までのところ、利用者はリピーターが多いのでしょうか、それとも新規

の人が多いのでしょうか。

事務局 手元に資料がないので、新規利用かりピーターか、今そこまでお答え出来ず申し訳ございません。貸出の際に申請書をいただいておりますので、後程確認させていただきます。

議長 一度使っていただいて、「これいいな」と思っていたいただいて、どんどん利用してもらえると良いのかなと思います。

それから次のページ、1-4②ごみ減量事業所の登録制度について、昨年度、今年度と検討が続いていますが、事業者の方と、協議等は行っているのでしょうか。

事務局 こちらにつきましては、イメージ的には、食品ロスの削減協力店の登録制度と同じように、協力していただいている事業者さんを登録して、こちらの事業者は積極的にごみ減量に取り組んでいますよというようなものを想定しているところですが、事業者との協議という形ではなく、課内で、どのような形でやるのかなどについて、実施している自治体などの例を勉強させていただくなどにより、調査検討してまいりたいと考えております。

議長 今は各事業者が、こういった社会貢献を私どもは行っていますということを公表しています。

そこで、この事業者はこの登録制度で一生懸命ごみの減量化に取り組んでいます、やってくれていますと評価して、褒めてあげることも大切ではないかと思えます。

今のぼりがたっていますよね、食品ロス削減協力店の。

事務局 今検討しているのは、ああいったイメージのものになります。

ごみの減量化を積極的に行っている事業所を、ああいうのぼりやステッカーなどの形で評価して、お知らせすることを考えています。

しかしながら、メリット、デメリットもあるのかなと思いますので、実施している自治体にちょっと話を聞くなど、方法は定かではないですが、何らかの形で検討していきたいと考えています。

議長 社会貢献で一生懸命やっている事業者はお知らせしてあげたいと思います。

次に1-5の事業系廃棄物のごみ処理手数料ですが、10月からの価格改定がすでに決まっていますが、これは印西市だけではなく、クリーンセンターに持ち込まれる事業系廃棄物すべてが対象になるわけですが、次回の審議会の時に、実際に上げる前と上げた後のクリーンセンターに搬入された事業系廃棄物の量を教えていただきたいと思うのですが。

事務局 グラフなどの見せ方は事務局にお任せいただきまして、お知らせさせていただきたいと思えます。

議長 よろしくお願ひします。他にいかがでしょうか。

委員 1-2の生ごみ減量のところの利用者の声を取り入れた広報の実施とありますが、地域回覧で回ったりしましたでしょうか。

処理機やコンポストいかがですかという案内はもらったと思うのですが、その中に利用者の方の声って入っていましたでしょうか。というのも、例えば、生ごみ処理機はお庭がなくても家に設置できるものですが、実際に家に置いたらどうなのかというのは、多分皆さんわからなくて、置きたいけどにおいが気になるのではないかと

か、汚いのではないかというイメージがあると取り入れることが出来ないと思います。

実際に利用されている方の声があったりすると、減量化の推進に効果があるのかなと思うのですが。

事務局 ご意見ありがとうございます。

主にホームページ等で、アンケート結果につきましては公表しておりました。今ご意見ありましたチラシなどにも、利用者の声載っていることで、生ごみ処理機などをご利用いただくきっかけになるかと思っておりますので、検討させていただきたいと思っております。

委員 以前、生ごみ処理機を貸し出していただきまして、私見事に挫折しましたが、値段もするものなので、数ヶ月お試し出来てよかったなと思っています。

また、使用された方などいろいろ調べてみると、結構挫折された方が多いようなんです。調べてみたら、乾燥させて堆肥化させる、その循環が上手くいかなくて失敗している方が多いようなんですね。多分コンポストの方もそうじゃないかと思うのですが。利用にあたっての技の共有のため、コンポストのネットワークグループを作っている自治体などもあるようです。そこで、相談、アドバイスがあつてうまく循環しているようです。

先ほどの剪定枝粉碎機の貸し出しですが、生ごみ処理機の貸し出しも使ってみたいと考えている方は多いと思いますし、今でも効果的なのではないかと思っておりますがいかがでしょうか。

事務局 以前は、生ごみ処理機の貸し出しを行なっていましたが、現在は購入補助に切り換えており、剪定枝粉碎機について貸し出しを行っている状況です。

これは、新しく剪定枝粉碎機を補助対象に選定しましたので、お試して、それからどうですかという基本的な流れを考え、行っています。

生ごみ処理容器は、ある意味その役目、その期間は終わったと思っています。

例えば実際に体験しなければわからないということもありますが、今はいろいろな媒体がありますので、こういうところで体験談を検索していただいて、うまく活用していただければと考えています。

ただ、最初にお話しにありました利用者へのアンケートを行なっておりますので、そのアンケートの中身の方、聞く内容を体験やこれから使ってみようと考えている方へのアドバイスなどをご回答いただけるよう、質問内容を工夫させていただいて、それをチラシやホームページなどで活用し、PRしていければと考え、まずは、今行っております利用者へのアンケートの内容の検討をさせていただければと思います。

議長 実際に使われた方、利用された方の声は、次使う方はすごく参考になると思います。次使う方の参考となるように、そうした声を流していただければと思います。

委員 アプリでもそれを見ることが出来るとより良いと思います。

議長 次に、アクション2の説明をお願いします。

事務局 (資料2 アクション2について説明)

議長 質問、ご意見等ありましたらお願いします。

それでは、また私の方からですが、2-1②のごみ減量化等説明会についてですが、目標は10回ですが、残念ながらまだ1回の開催になっています。町内会自治会連合会の総会で説明会の案内は5月にさせていただいていますが、各自治会への説明会の案内はこれからになりますか。新市長も就任されたところなので、少し町内会長さんに意識してもらうために、市長名でこのような事業を行なっていますから、ご利用いただけませんかという形でご案内できないでしょうか。

ごみの減量化は喫緊の課題ですよということ。

事務局 説明会の案内につきましては、これから町内会や自治会の皆様に対して、周知を行う予定であります。

議長 開催を希望しますかと伺って、それを返送してもらうという方法なども一つの例としてあると思います。

委員 町内会の会長をやった経験からなのですけど、やはりコロナの影響というのがまだ抜けきれていなくて、ここに来てまた水疱瘡とかが流行ってきたりして、そういう中で、みんなを集めて説明会を開くということには、なかなか踏み込めない実情はあります。やっと今年、お祭りが出来たという状況なので。人を集めることが難しいのが実態になります。

何回か回覧で市役所からいただいていますけれども、みんなも興味はあるのですが、ただ説明会をやるっていうと、例えば防災訓練の時に合わせてやろうかなどの考えもありますが、なかなか人を集めるのがまだちょっと難しい雰囲気があります。

議長 今意見のありましたように、町内会さん開催いかがですがという形でのお願いですと、これらの問題もありますし、いろいろと条件が厳しい部分もあると思います。

これが市の方で、いつどこでやりますよという形で案内出来れば、参加するのは個人になりますから、聞きたい人、興味ある人が聞きに来てくれるのではないかと思います。そうすると、参加しやすくなるのではないのでしょうか。

ニュータウン、市役所、印旛、本埜で、年に4回ほど定期的な説明会を開催できれば、もっと参加してもらえるのではないかと思います。目標10回とありますので、目標達成のためにも考えてみてください。

事務局 委員からお話ありましたように、町内会や自治会で説明会を行う、人を集めることの難しさがまだ現場にはあるというご事情もあると思いますが、ご案内につきましてはさせていただきたいと思います。

もう1点、説明会の違った形での開催ですが、これまでとは別の開催方法として検討させていただきたいと思います。

議長 機会を作ることは重要だと思いますので、よろしくお願いします。

委員 市で主催される場合は、ZoomやYouTubeの利用などもご検討いただきたいと思います。

議長 今は利用される方も多いですしね。YouTubeなら登録しなくても、視聴するだけですし。

委員 少し前に、グリーンインフラに関する講習会があったのですが、私はオンラインで、Zoomで参加したのですが、そのようにすることで、会場でもオンラインでも都合の良い方でご参加くださいと呼びかけられるのでいいのではないのでしょうか。

議長 何月何日に YouTube で公開されますので、そちらをご覧くださいというような案内のものも他でありました。

事務局 会場には行けない方でもご自宅でも参加できるようになりますので、併せて検討させていただきたいと思います。

議長 もう1点、4ページのリサイクル情報広場の関係ですが、今年度も実施されていますが、あそこの要望をみると、一番多く出ているのが大体学校関係の制服や、運動のトレーニング用のジャージだとか、幼稚園、保育園の園児の服とかが多いと思います。制服は要らなくなったら、どんどん寄付してくださいだとか、そういう投げかけをしてもいいのではないかと思いますので、検討してもらいたいと思います。リサイクル情報広場を設けることはいいことだと思いますので、もっと利用してもらえようにしていただければと思います。

それでは続きまして、アクション3について説明をお願いします。

事務局 (資料2 アクション3について説明)

議長 ご意見等はございますか。

委員 3-2②の小学生への啓発物資の配布について、方向性みたいなものはありますでしょうか。

事務局 啓発物資の配布物につきましては、以前もご意見としていただきまして、啓発物資をどうするかについては現在検討しているところになりますが、配布すること自体は、継続して、小学生に実施してまいりたいと考えております。

委員 廃棄物減量等推進審議会なので、そろそろこういう配布物については見直すべきだと思います。ペーパーレス化され、オンラインでデータのやり取りもできる時代なので、全員に配布物を配るようなことは、これまでも言っていますので強い言葉になりますが、無駄なのではないかと思います。もし配布するものが変わるのであれば、それがごみの減量に寄与されるものであることを強く期待しますし、配布されて、寄与しないようであるならば、もうスッとやめていただきたいと思います。

議長 これにつきましては検討をお願いします。

私からは、その上の「さんあ〜る」のインストールについて、前年度に教育委員会と協議されて、課題があったと思います。今年度は、これから教育委員会と課題の洗い出しを行うということですが、もしこういう課題があって出来ないというのであれば、もうそれはやむを得ない話だと思いますが、しっかりお話をしてください。先ほど委員からの話にもありましたが、せっかくある道具なのでから効果的に使い、例えばタブレットを積極的に使うとか、そういう形でやっていければいいかなと思います。

それともう1つ上の、クリーンセンター見学時のごみ減量化等説明会について、協議し、試験的に実施とありますが、これは日にちとか対象校は決まっていますか。

事務局 こちらは、試験実施までは至っておりません。

クリーンセンターと協議を行い、実際どうすればできるのか、実施にはどういった課題があるのかということについてご相談させていただいています。

議長 以前、小学校の校長先生も見えたときにそういう提案があったものなので、見学

会と説明会と別々に行うのではなく、一緒にできれば、見学会をした後にお話をしたり、具体的なものを見せてもらったりというようなこともできると思います。強くお願いしていただきたいと思います。

クリーンセンターとの話し合いに声をかけてもらえれば、喜んで行きますので、ちょっと考えてみてください。

事務局 クリーンセンター側との調整もありますが、一番大きいのは学校の授業のスケジュール、カリキュラムの中でどれだけ時間を取ることが出来るかという点が、一番大きい問題になります。あまり長時間になるとそうしたところに影響がありますので、そこはやっぱりきちっと考えていけないと思いますので、その辺を含めて教育委員会とも話をしていきたいと思います。

議長 よろしくお祈りします。他にいかがでしょうか。

委員 3-1②の視覚的広報ですが、動画を公開していて、1つは2.5万回再生のものもありますが、全体的には少し視聴回数が少ないかなと思います。

インターネットで見ることが出来るものなので、宣伝等をもう少し強化していただいて、こういうものがありますよとお知らせできれば、みんな見て勉強するのではないかなと思います。

事務局 多くの方にご覧いただけるよう、対応してまいりたいと思います。

委員 関連する話ですが、アプリから動画が見られようにしていただいて、見やすくなりました。

③の環境フェスタに参加したのですが、参加団体をまわるスタンプラリーで、うちのブースはクイズに3つ答えるか、或いはアプリのダウンロードでスタンプを押していたのですが、その際にアプリの評判がとてもよく、シニアの方ももう入っていますとか、入れていますとか、あと若い方ですとその場ですぐ入れてくれたりしていただいて、私が担当していました2時間くらいでも20人ぐらいの方がアプリを入れてくれて、すごくびっくりしました。

このアプリだと、動画もすぐ見ることが出来ます、子どもたちも見ることが出来ますってお話しすると、早速見てみますって言ってきて、うちの家族も動画を見て、すごく勉強になったと言っていました。

私もたまに見返すのですが、毎回やっぱりちょっと勉強になります。

また、ある方にどこでアプリを知ったかを伺ったところ、広報で知ったということでした。

そこで広報を確認したところ、今年の1月15日号でとてもよくまとめられていて、家族からもアプリはどうやって入れるのと聞かれ、これを見せたら、すぐアプリを入れていました。アプリの推進はとても素晴らしいことだと思いますので、より一層進めていただければと思います。

事務局 広報のブンベツくんの記事の書き方なども、この審議会でも委員の皆様からいただきました意見を反映させていただいて作らせていただいています。

委員 意見がすぐ反映されていたので、驚きました。

事務局 出来るものにつきましては、どんどん活かしてまいりたいと考えております。

委員 シニアの方にアプリのことを聞くと、教えてくれるから便利と言っていました。

多くの方に使っていただけるといいなと思います。

事務局 お問い合わせなどの際にも、アプリのご案内などをさせていただいておりますが、口コミというのも有効なPR方法になりますので、ぜひお近くの方にお勧めいただければと思います。

市としましても、様々な方法で、引き続き動画、アプリなどのPRを行なってまいります。

議長 それでは次に、議題の（3）その他について、事務局からお願いします。

事務局 ございません。

議長 それでは議事につきましては、これで終了といたします。

令和6年度第1回印西市廃棄物減量等推進審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年10月18日

印西市廃棄物減量等推進審議会

委員 坂口 育子

委員 白石 則夫